

足尾地域における観光振興活動のモニタリング指標の提案 ～産業遺産と環境学習に着目して～

宇都宮大学 学生会員 ○鈴木 慎二
宇都宮大学 正会員 阪田 和哉

1. 背景と目的

栃木県日光市に属する足尾地域は、公害問題で全国的に有名な足尾鉍毒事件の舞台となった地域である。この地域は、鉍山産業により繁栄してきたが、銅山閉山後は産業衰退および人口減少により、衰退の一途をたどっている。

そこで、足尾地域では、産業遺産や環境学習を活かした観光振興活動が行われている。活動はこれから本格化すると考えられるが、産業遺産と環境学習を活かすためには、継続的な取り組みが不可欠である。そこで、本研究では、足尾地域で行われている観光振興活動を継続的にモニタリングする簡易的な手法を提案する。

表 1 市民団体概要

団体名	主な事業内容
NPO 法人足尾に緑を育てる会	足尾ダム周辺の荒廃地の苗木の植樹とその後の保護育成
	児童・生徒及び各種団体の植樹活動の支援
	足尾銅山と環境問題に関する文献収集
NPO 法人足尾歴史館	地域の歴史的資源及び伝統文化に関する調査保護事業
	地域の歴史・伝統文化に関する情報提供
	地域の歴史・伝統文化普及継承に関する講演会等の企画運営事業
足尾銅山の世界遺産登録を推進する会	足尾銅山の歴史的価値の検証及び周知関連
	足尾銅山の産業遺産を活用したまちづくりに関すること
	世界遺産登録に関すること

2. 足尾地域の動き

(1) 行政の計画

足尾地域では、1994 年（平成 6 年）の「エコミュージアムあしおの創造〈足尾地域開発基本構想策定調査報告書〉¹⁾」から、産業遺産と環境学習を活かした地域開発構想が存在する。

(2) 市民団体の概要

また、足尾地域で現在精力的な活動を行っている 3 つの団体を表 1 に示す。足尾地域では、産業遺産と環境学習を中心に活動が行われていることがわかる。

3. モニタリングの考え方

先に述べたように、足尾地域では産業遺産と環境学習を活用する活動が中心であるため、本研究では産業遺産と環境学習の活用に着目して、モニタリング指標を提案する。さらに、上記の活動の成果である観光振興効果をモニタリングするための項目も加えることとする。

キーワード 観光振興、産業遺産、環境学習

連絡先 〒3210-8585 栃木県宇都宮市陽東 7-1-2

宇都宮大学工学部建設学科

TEL 028-689-6223 FAX 028-689-6220

(1) 産業遺産関連活動のモニタリングの考え方

足尾地域では、現在活用できる産業遺産が少ないため、今後の活動の中心は、産業遺産の管理となる。そのため、本研究では、管理状況と活用効果をモニタリングする。

(2) 環境学習関連活動のモニタリングの考え方

植林を通した環境学習が中心であるため、植林の結果とその効果をモニタリングする。

(3) 観光振興効果のモニタリングの考え方

観光振興活動の効果として期待されるものは、交流機会の増加と経済活性化である。そこで、観光客の動向と地域内人口変化、認知度をモニタリングする。

4. モニタリング指標の提案

本章では、モニタリングに用いる指標について特徴的なものの説明を行う。

(1) 産業遺産関連活動のモニタリング

項目と指標は、表 2 の通りである。

a) 文化財の整備状況

世界遺産暫定一覧表追加記載提案書²⁾に記載されている文化財を、内部への立ち入り可能、敷地内の立ち

表 2 産業遺産関連活動のモニタリング項目と指標

項目	指標
管理状況	文化財の整備状況
	サインシステムの整備数
活用効果	産業遺産観光入込数
	足尾歴史館入込数
	満足度

表 3 環境学習関連活動のモニタリング項目と指標

項目	指標
植林結果	植林面積
	植林参加人数
植林効果	流出係数
	意識変化
	足尾環境学習センター入込数

入り可能、文化財の外観が目視可能、の三段階で順に A, B, C とし評価する。

b) サインシステムの整備数

サインシステムの評価をする場合、配置場所、デザインの評価を行う必要があると考えられるが、足尾地域では、整備数自体が不十分であるため当面は、整備数のみとする。

c) 満足度

産業遺産来訪者の満足度及び足尾地域のイメージを調査する。

(2) 環境学習関連活動のモニタリング

項目と指標は、表 3 の通りである。

a) 流出係数

降雨量に対して地表を流下する雨水の割合であり、植林が進めば数値が下がる。

b) 意識変化

植林前後における植林参加者の環境に対する意識変化を調査する。

(3) 観光振興効果のモニタリング

項目と指標は、表 4 の通りである。

a) 就業誘発効果

足尾地域の観光消費による経済波及効果を分析し計測する。

b) ホームページアクセス数

足尾地域関連のホームページを複数選定し、アクセス数の合計を用いる。

表 4 観光振興効果のモニタリング項目と指標

項目	指標
観光動向	観光客入込数
	観光客宿泊数
	観光消費額
全体整備効果	転入者数
	転出者数
	地域内人口
	地域内労働人口
	就業誘発効果
認知度	ホームページアクセス数

5. 課題

(1) 満足度及び意識調査

調査項目、調査方法を詳細に検討する必要がある。

(2) 観光消費額

全国規模の観光消費額は、国土交通省から報告されているが、足尾地域は、日光地域と隣接しているため観光消費額の全額が足尾地域で消費されているとは考えにくい。そこで、精度を高めるために、足尾地域で消費された観光消費額を調査することが考えられる。

(3) 就業誘発効果

経済波及効果分析の際、全国もしくは、栃木県の産業連関表を用いる。しかし、鉱山産業で繁栄していた足尾地域と全国及び栃木県の産業構造に違いが存在すると考えられるので、精度を高めるためには、これを考慮した分析を行うことが考えられる。

6. 展望

今後は、提案した指標を一覧で観覧できるようにモニタリングシートを作成する。そして、実際にモニタリングを行い、改善点を模索する。

また、本研究で提案した指標は、PDCA サイクルにおける Check の一部と考えられるので、提案した指標を用いて議論を行うことで、PDCA サイクル導入の一助となる可能性がある。

参考文献

- 1) エコミュージアムあしおの創造〈足尾地域開発基本構想策定調査報告書〉、足尾町
- 2) 世界遺産暫定一覧表追記記載提案書 足尾産業遺産ー日本の近代化・産業化と公害対策の起点ー、栃木県日光市、pp.4-6、